

海外安全対策情報（２０１９年４月～６月）

１ 治安情勢及び一般犯罪の傾向

- （１） ルアンダ州における犯罪件数及び逮捕者数は、以下２に記載のとおり推移ⁱしております。なお、同数値は当地警備会社から提出された資料に基づくものであり、ここに計上されない犯罪も多数発生していることが想定されます。特に都市部（人口密集地域）においては、引き続き各種犯罪ⁱⁱに対する十分な注意が必要です。
- （２） 過去の内戦時に国内に持ち込まれた銃器が現在においても国内に広く出回っているとの情報があり、銃器を使用した強盗等の犯罪被害が報告されています。特に当地では、オートバイに複数名が乗車して強盗やひったくり等の犯行に及ぶ事件が多数報告されております。
- （３） 治安が悪いとされる地区においては、夜間だけでなく日中であっても駐車中の車両を標的とした車上荒らしや主に外国人を狙った強盗（ひったくり含む）犯罪が発生しています。
- （４） 当地では外国人を標的とした誘拐が発生しております。中国人を含む外国人が実際に被害に遭う事案も報告されており、中国人と区別のつきにくい日本人としても十分な注意が必要です。
- （５） 当地では、上述した以外にも空港や路上等において、邦人が不当に金銭の要求を受けるなどの事案被害に遭うトラブルが発生ⁱⁱⁱしております。詳細は本文末にも記載しておりますので、参考にしてください。

２ 犯罪件数・逮捕者数の推移

当地警備会社から提出された資料によれば、２０１９年４月～６月のルアンダ州の犯罪認知総件数は１，１６５件（前四半期：８８７件）となっています。その中で特筆すべき情報は、以下のとおりです。

【逮捕者数】（ ）内は前四半期件数

逮捕者 ３，９８４名 （３，４１５名）

【その他】

火災 ２６６件 （２０６件）

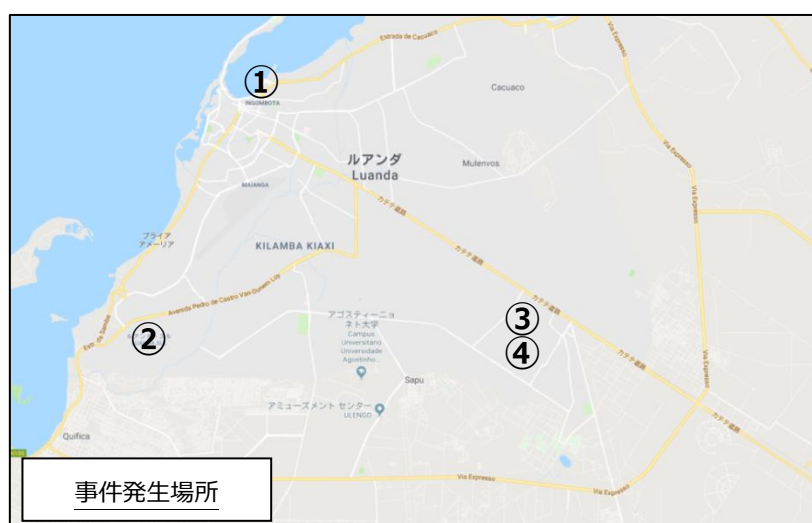
交通事故 ４３７件 （３９３件）

交通違反者 ４，１５９件 （６，８３３件）

３ 犯罪被害事例

- （１） 【強盗事件】４月６日（土）午後６時１０分頃、マルジナル地区遊歩道上で邦人の強盗被害が発生し、犯人グループは、ナイフを所持しており被害者のバックを強奪しました。

- (2) 【強盗殺人事件】4月23日(火)夜間、ルアンダ・スル地区(ベラス地区)の路上において、車両運転中だったポルトガル人がオートバイを使用した強盗犯に停車を命じられ、その後発砲され殺害される事件が発生しております。
- (3) 【侵入強盗事件】5月22日(水)午前7時頃、ヴィアナ地区で国家警察を名乗る集団がアメリカ人夫婦住居へ押し入り、住居内より現金及び携帯電話を奪い逃走した事件が発生しました。
- (4) 【強盗殺人事件】6月23日(日)夜間、ヴィアナ地区で元ギニアビサウ名誉領事だった実業家が銀行から自宅へ帰る路上で何者かに銃撃され死亡する事案が発生しました。なお、容疑者は、被害者の所持品(現金及び宝石類)を強奪しオートバイで逃走しており、警察は犯人の行方を追っています。



4 テロ・爆弾事件発生状況

当該期間中における発生の情報はありません。

5 主な誘拐・脅迫事件発生状況

特に問題となる情報はありません。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

特に問題となる情報はありません。

-
- i 当国治安当局による犯罪発生(認知)件数の公式発表は行われておらず、本情報内の各犯罪・事故等にかかる件数や報告内容は、当館警備会社が独自作成した資料に基づくものである。
- ii 過去に邦人が被害を受けた事件例として、①所持品を狙った強盗事件(スリ・ひったくり含む)、②車上荒らし、③車両部品の盗難、④住居侵入被害 等。
- iii 過去に邦人が被害を受けた事案例として、①空港での不当な金銭要求、②港湾施設や政府関係施設の撮影を巡るトラブル、③当国官憲からの不当な金銭要求 等。